

平成 22 年 5 月 28 日

中央環境審議会地球環境部会

中長期ロードマップ小委員会

(社)全国中小建築工事業団体連合会 会 長

一般社団法人 工務店サポートセンター 理事長 青木 宏之

① 全建連の紹介

1971年に発足し、1974年に社団法人全国中小建築工事業団体連合会として認可された公益法人です。
国土交通省（総合政策局）（住宅局）の2局により所管されるわが国唯一の「工務店経営者の全国組織」です。
全国に中小工務店75団体が所属しています。

② 在来木造軸組工法（昔の家は究極のエコハウス）

- ・日本の国の豊富な森林資源（日本の木）のもと、自然発生したオープン工法（日本の家）、
熟練した大工により手道具で作れる（日本の技）。
- ・建築資材は地域にある木・石・土・紙等の自然素材。燃やすことにより元に戻る。
- ・地域ごと、気候条件によって多少の異なりはある。
- ・大地震の度に工夫され、改良されてきた。
- ・素材を扱う技能者（大工・左官・建具・林業・屋根等）も素材により訓練され育ってきた。

③ 現在（地域工務店の作る住宅）

- ・戦時中燃料に使った為、森がはげ山になり、戦後、杉・桧を植林、育つ間30～40年は外国からの輸入材に頼らなければならなかった。現在は質、量共十分に足りるだけ育った。
- ・戦後、大量に住宅を作る為、工業製品が建材として大量に使われた。
- ・10年程前から住宅に性能が求められるようになり、性能表示制度が出来た。
- ・2009年6月より長期優良住宅普及促進法が成立、家づくりのガイドラインが出来た。

④環境に配慮した家づくり（全建連の先導モデルへの取組み）

省エネ、耐震、バリアフリー、劣化対策等の基準が出来、これにプラス工務店の作るべき住宅として提案した。

そのポイントは以下の通り。

1. 地域工務店が一番得意な構造材・羽柄材に国産材100%を使う。（出来れば、内装・外装にも）
2. 次世代省エネ基準。（等級4）クリアー
3. メンテナンスをすることで、100年以上劣化を防ぐ。（等級3）
4. 総合的にCASBEE評価を義務付ける。

推奨 提案（工務店の工夫）

- ・外構になるべく木材を使い、日射遮蔽に植樹をする。
- ・バイオマスを奨励。（ペレットストーブ等）
- ・省エネ設備。（給湯、空調、照明等）
- ・太陽光利用。（発電、温水）
- ・雨水利用。
- ・採光、風通しに配慮した設計。
- ・ゴミの処理。
- ・脱フロン。
- ・構造金物の脱クロム。
- ・その他。

⑤ 結論（地域工務店の競争力の有る家）

- ・国産材＋左官（漆喰）による民家、ただし、性能は長期優良住宅＋住宅履歴を保存し、維持保全をする。
- ・森・水・空気を大切にする教育。（設計者・施工者・消費者）
- ・住宅投資は、新築から大量に存在するストックへの環境対応リフォーム（この部門の技術開発、人材育成への投資に期待）
性能の高い中古住宅が評価される仕組みを作りたい。地域工務店は家を新築する人から家を守る人になる。
- ・住宅の使い方は個人により千差万別、シェルター型を望む人から自然の中で我慢して住む人までその環境負荷は様々、
しかし住宅の基本性能が確保されていると中長期ロードマップに乗った住宅となる。

以上

参考資料

- ・全建連ちきゆう住宅・国産材モデル09パンフレット
- ・全建連型展示モデルみんなの家（先導モデル）

日本の木で、日本の技で、日本の家

より良い住宅をつくり、しっかり守る地域工務店

これが全建連が提案する「ちきゅう住宅長期優良国産材モデル」

環境に配慮した住宅



これからの住宅に求められる環境性能の向上にむけ「CASBEEすまい(戸建)」の評価を導入

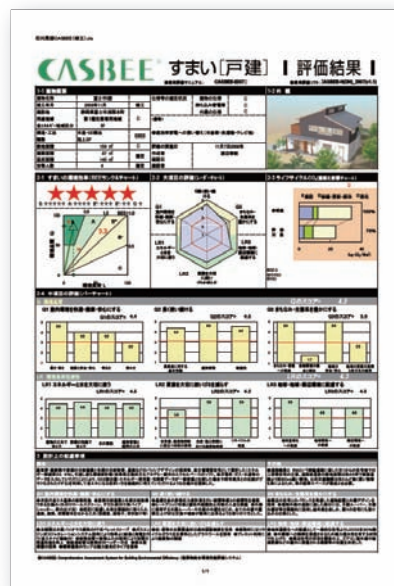
「CASBEEすまい(戸建)」とは、2001年に国土交通省主導の下、産学官の共同プロジェクトにより開発された、建築物総合環境性能評価システムの戸建て版です。

建築物の環境効率(どれほど環境にやさしいか)を測るものさしとして、環境負荷をさまざまな視点からわかりやすく示されています。

ちきゅう住宅長期優良国産材モデルでは、このCASBEE評価の仕組みを全棟に採用し、環境に配慮した家づくりに努めます。

「環境にも人にもやさしい家」

住みやすい家(住んでいて安心できる家)を提案しています。



「CASBEE評価シート」

構造材・羽柄材には、すべて国産材を使用

昔から家は、その土地の気候風土に合った素材でつくることが理想とされてきました。豊かな森林資源に恵まれた日本でいえば、**当然のことながら木材**ということになります。

高温多湿な気候の日本では、腐朽菌が発生しやすく、シロアリなどの病害虫も数多くみられます。このような環境のなか、森林で何十年、何百年と生き続けている木には、日本の気候風土に対する耐性(防腐・防虫性能など)が備わっているため、耐久性に優れた木材となり、世代を越えて住み継がれる**丈夫で長持ちする住まい**ができるのです。

「ちきゅう住宅長期優良国産材モデル」では、長期に渡りCO₂を住宅に固定する環境への配慮に加え、地域産材の活用を進めるために、構造材・羽柄材に**国産材を100%使用**します。



国産材を使用した住宅



全建連ちきゆう住宅・国産材モデル09

より良い住宅をつくる 長期優良住宅に求められる、住宅の性能はもちろんのこと
独自の施工基準を設け、より良い住宅をご提供します。

長期優良住宅の7つの認定基準を網羅

これまでの日本の住まいは、「質より量」に重きを置かれてきました。しかし、社会が成熟した今、環境問題への危機感もあり、「つくっては壊す」から「良質なものを手入れしながら、長く大切に使う」意識へと変わってきています。

国も「長期優良住宅普及促進法」によって、補助金や税制優遇など具体的な施策を打ち出しました。

ちきゆう住宅・長期優良国産材モデルでは、長期優良住宅の認定基準を満たすと共に、設計性能表示の取得を条件として「日本の住宅のスタンダード」を目指します。

長期優良住宅の戸建住宅では、以下の7つの項目に認定基準が設けられています

- ①劣化対策 ②耐震性 ③維持管理/更新の容易性 ④省エネルギー性能 ⑤居住環境 ⑥住戸面積 ⑦維持保全計画

ちきゆう住宅長期優良国産材モデルの独自仕様

■責任ある点検と検査



全建連が全国工務店の技術とノウハウを結集し、独自の品質・管理基準でつくるのが「地域木造優良住宅(ちきゆう住宅)」です。独自基準により責任をもって工程ごとの検査を実施します。

■コンクリート強度試験



基礎に用いるコンクリートは、呼び強度30N/mm²を使用し、現場でのサンプリングに基づき第三者機関による強度試験を実施します。

■耐久性の高い金物



構造に使用する金物は、耐久性に優れた質の高いZマーク表示金物の使用を原則とします。

■地盤調査と保証



地盤調査を行い、地盤のチェックと適合する基礎の設計・施工を行うとともに保険による地盤保証を加入します。

しっかり守る

住宅履歴情報管理システムを利用した長期にわたる維持保全計画の実施

住宅のより良い状態を長期間にわたって維持するには、計画性のある点検と維持管理が大切です。そのための情報の作成と蓄積、管理と活用が必要となります。

「住宅の履歴書」は、計画から施工、竣工から住み続けている期間を通して作成、更新される住まいの情報です。

「ちきゆう住宅・長期優良国産材モデル」では、この計画からの記録の保存を義務付け、60年間にわたる長期間の維持保全計画書を作成することを宣言しています。

また、施工の経緯をわかりやすく記録するシステムや施工過程の点検記録を情報化する機能をもつツールとソフトを整備し、必要な情報を作成します。

さらに、「住宅履歴情報のサービス機関」として、顧客住宅情報の永続的な管理を行います。必要に応じて、情報の取り出しが行えるため、メンテナンスや売買に際して、効果的に活用できます。



しっかりサポートする

長く安心して住むための「家守り」のしくみを支援する工務店サポートセンター

地域の工務店のいいところ、それは「お客様の近くで、家を見守り、いつまでもサポートできる」ところです。同じ地域に長年住んでいるからこそ、地域独自のニーズや家づくりのポイントなどに細やかな対応ができるのです。

そして、JBNの工務店には、その業務をサポートする仕組みが整備されています。それが「工務店サポートセンター」となります。工務店サポートセンターでは、最新の技術や情報・人材育成などをバックアップする様々な仕組みが用意して、地域の全建連の工務店をサポートしています。

(社) 全国中小建築工事業団体連合会(全建連)とは?

1971年に発足し、1974年に社団法人全国中小建築工事業団体連合会として認可された公益法人です。国土交通省(総合政策局)(住宅局)の2局により所管されるわが国唯一の「工務店経営者の全国組織」です。

JBN 社団法人 全国中小建築工事業団体連合会
一般社団法人 工務店サポートセンター